

今月号は児童数で配布しています



学校だより

令和6年2月29日発行

立川市立若葉台小学校 校長 松村 利一
〒190-0001 立川市若葉町 1-13-1
TEL 042-536-3971 FAX 042-534-6943
HP <http://www.tachikawa-edu.jp/es19/>

子ども達に身に付けさせたい「生きる力」

校長 松村 利一

早いもので、一年間のまとめの月を迎えました。6年生は卒業に向けて、他の学年は進級に向けて、一日一日を大切にしながら学習に取り組んでいます。今年度も最後まで、子ども達の一生懸命な姿を応援していきたいと思えます。

先月、立川市小学校科学教育センターの閉講式がありましたが、この科学教育センターには、本校からも7名の6年生が自ら希望して受講していました。いろいろなことに興味をもって、自ら進んで学ぼうとする姿勢をもっていることが素晴らしいと思えます。子ども達が大人になって活躍する社会では、AIやロボットなどの科学技術の進歩が著しく、人間が担う役割などにも変化が見られるだろうと言われています。そのため、私が子ども達に身に付けてもらいたい「生きる力」は、変化の激しいこれからの社会に「適応する力」なのです。そして、変化に適応するためには様々なことを学び続けたり体験し続けたりすることが必要不可欠だと思います。だからこそ、科学教育センターの学びに自ら進んで取り組んだ子ども達の学ぶ姿勢を、どの子にも持ってもらいたいと願っています。

私は昨年度の卒業式で、ノーベル賞受賞作家の大江健三郎氏の言葉を引用しながら、卒業生に「学び続けるひとになってほしい」と伝えました。どんな大人になるか、それは、子ども達がどんなことを学び続けるかで決まると思うからです。そして、学び続けることで「自分と未来をよりよく変えるための力」を身に付けてほしいからです。私の大好きな詩人である宮澤章二氏の「流れの中で」という詩の中にも、今この時の学びを大切にすべきだと教えてくれる言葉があるので、紹介させていただきます。

流れの中で
宮澤章二

聞けるときに 聞いておかないと
決して聞けない コトバがある
言える時に 言っておかないと
再び言えない コトバがある

つかめるときに つかんでおかないと
死ぬまで無縁の 宝がある
みがけるときに みがいておかないと
光らぬままに朽ちていく 宝がある

得たものを失う その数よりも
得られずに失われたものたちの
数の多さ

わずかな知恵と わずかな努力が
それらに触れ得たかもしれないのに

【お知らせ】

昨年度と同様に、今年度も3月22日（金）の修了式後に異動する予定の教員を児童に伝え、お別れの挨拶ができるようにします。なお例年行ってきたような離任式（お世話になった先生に代表児童が作文や花束を渡す、学校を去られた先生のお話を聞く）は新年度に行わない予定です。